

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.86 (2023.5.26)

令和5年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
「顧客感動(CD)」から
「顧客ロイヤルティ(CL)」への挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

皆さんは最近話題の ChatGPT を使ってみましたか。私はこれまで数度使って質問をしてみました。今回「社員が感動してやる気のでる文章を教えてください」と質問したところ、ChatGPT から次のような文章が提示されました。

以下は、社員が感動しやる気を高めるかもしれない文章の例です：

「私たちは、単なる仕事ではなく、使命を果たすためにここに集まっています。私たちの取り組むプロジェクトは、人々の生活を豊かにし、社会に良い影響を与えるものです。私たちの手で創り出す建物や施設は、未来を築く礎となります。私たちのチームは一つの大家族です。お互いを助け合い、支え合いながら成長していくことが大切です。困難な瞬間や挑戦に直面したときこそ、私たちの結束力と創造力が試されるときです。私たちの仕事は、ただ単に建物を建てるだけではありません。私たちは人々の夢や希望を形にするパートナーです。お客様の笑顔や感謝の言葉を受け取る瞬間は、何よりも大きな喜びです。だからこそ、私たちは常に最高の品質を追求し、創造性と革新性を持って取り組むことが求められます。困難な課題に立ち向かい、限界を超える勇気を持ちましょう。私たちの可能性は無限大です。そして、忘れてはならないのは、私たちがやる気を持ち続けることが、組織全体の成功につながるということです。お互いを励まし、素晴らしい成果を共に達成しましょう。私たちの仕事は社会に対する貢献です。私たちが力を合わせて、より良い未来を築くことができると信じています。感動し、やる気に満ちた心で、共に成長していきましょう！」

このような文章は、チームのモチベーションを高めるために使用することができます。ただし、個々の状況や文化に応じて微調整することをおすすめします。また、定期的なコミュニケーションや励ましの機会を設けることも重要です。

ここで驚くことは、ChatGPT は私が建築の会社にいるということを知っているということです。おそらくこれまでの質問から AI が学んでいるのだと推測されますが、少し怖い感じもします。この世の中に出現してまだ半年あまり、おそらくどんどん進化していくものと思われそうですが、中にはとんでもない回答をしてくることもあります。秋田県横手市の佐藤正一について質問したところ、笑わないで読んでください。佐藤正一は横手市出身の政治家であり、昭和時代に衆議院議員として活躍しました。彼は、地元の発展や地域住民の福祉のために尽力し、多くの功績を残したことで知られています。佐藤正一は 1903 年（明治 36 年）に秋田県横手市で生まれました。彼は地元の小学校や中学校を卒業した後、東北大学法文学部に進学しました。大学卒業後は、秋田県庁に入庁し地方行政に携わりました。

こまちライフサービス



4月1日、弊社が施工させて頂きました、こまちライフサービス

湯沢中央給油所がオープン、テープカットをさせて頂き、第1号で給油させて頂きました。隣接のハイテクコインランドリーも素晴らしく、ゴールデンウィークに大量のカーテンを洗濯しました。関係された社員の皆様ご苦労様でした。



春の交通安全運動



春の交通安全運動が5月11日からスタートしましたが、長年の交通安全活動により当社松田鉄道工事部長に対して、森田県警本部長・長雄交通安全協会長連名の表彰状が授与されました。おめでとうございます。

春の交通安全運動が5月11

第22回社内施工技術発表会

5月12日に開催された第22回社内施工技術発表会で「七曲スノーシェルター」を施工した加藤潤一社員が見事最優秀賞に輝きました。審査員全員一致ですべての項目で高評価点でした。今後とも多くの経験を積んで技術者としての幅を広げて頂きたいと思います。おめでとうございます。



